

平成21年度外国語活動における教材の効果的な活用及び 評価の在り方等に関する実践研究事業

平川市立小和森小学校

1 学校の概要

(1) 学校規模

- ① 学級数：14学級（内特別支援学級2学級）
- ② 生徒数：307名
- ③ 教職員数：21名
- ④ 活動の対象学年：5学年・2学級・57名，6学年・4学級・59名

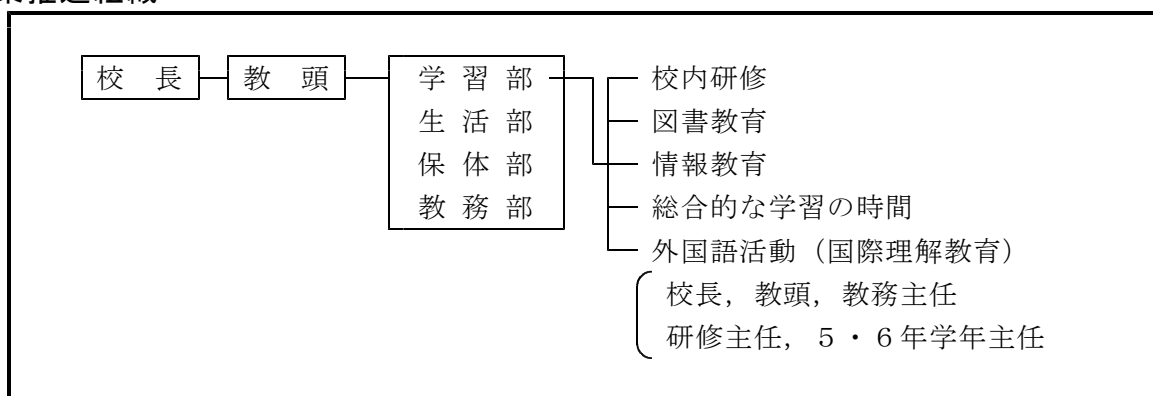
(2) 学校環境

- ① 津軽平野の南東部に位置し、人口3万人の農業を中心産業とした市の要の部分にあたる。学区は、大きな屋敷が建ち並び歴史を感じる地域や、駅前から広がる商店街地域、農業地域、新興住宅地域から構成されている。
- ② 周辺地域には、英語を話す外国人や英語の堪能な日本人はほとんど住んでおらず、英語塾等に通っている児童はわずかしかない。日常生活において児童が英語に触れる経験や機会は非常に少ない。

(3) 連絡先

- ① 住所：〒036-0101
青森県平川市大光寺二村井166番地
- ② 電話：0172-44-3149
- ③ FAX：お172-44-9477
- ④ ホームページ：<http://www.city.hirakawa.lg.jp/hiraka/edu/kowamori/>
- ⑤ 電子メール：kowamori-shou@city.hirakawa.lg.jp

2 事業推進組織



3 事業経過

月	取組の内容	備考
4月	・基本計画の共通理解及び授業の開始 ・校内研修オリエンテーション (小学校外国語活動・理論編) ・ALT，地域ボランティアとの打合せ	

5月	・外国語活動推進委員会 ・校内授業研究会の実施	指導案の様式・評価 について
6月	・第1回青森県外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業推進協議会出席	取組の現状を発表
7月	・学年別教材作成研修会① ・クラスルーム・イングリッシュ研修	
8月	・デジタル教材および電子黒板の使用方法についての研修 ・学年別教材作成研修会② ・「英語ノート」の歌，チャンツ，ゲームの講習会	
9月	・平成21年度外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業公開発表会 兼 平川市小学校外国語活動研究協議会の実施 ・中学校との英語教育に関する情報交換	集中授業の設定
10月	・保護者・地域の方を対象とした授業参観デーでの授業公開 ・平成21年度小学校における英語活動等国際理解活動指導者養成研修（北海道・東北ブロック）に参加	
11月	・平成21年度小学校における英語活動等国際理解活動指導者養成研修についての報告会の実施	
12月	・アンケートの実施（児童・保護者）	
1月	・平成21年度青森県小学校外国語活動中核教員研修に参加 ・第2回青森県外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業推進協議会出席 ・第6回全国小学校英語活動実践研究大会の視察	取組の成果と課題を 発表
2月	・校内協議会 (年間指導計画，効果的な教材活用，授業方法等)	
3月	・研究集録の作成	

4 具体的取組内容

(1) 文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材を活用した授業の実践

- ① 本校におけるこれまでの英語活動の実践をもとに，年間指導計画を作成し，英語ノート1・2に基づいて年間35時間の授業を行った。
- ② 外国語活動推進委員会や校内研修で，英語ノートのCD(音声教材)やDVD(デジタル教材)の授業での活用方法について研修し，チャンツやゲーム等で活用した。また，英語ノート付属CDの音声が多すぎるとのことで，ゆっくり音声CD1・2『開隆堂出版』も併用した。
- ③ 児童にとって音声と具体物との関連が図りやすく，テンポよく授業を進めるために電子黒板を活用した。
- ④ 絵カードや写真，デジタル教材を活用して，児童の興味や関心を高めるための教材提示の方法を工夫した。

(2) コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究

- ① 評価の観点を「関心・意欲・態度」「コミュニケーションの力」「言語に関する気づき・理解」とし、Lesson毎に評価を行った。
- ② 児童の授業のめあてを“BEST”として、英語ノートの中表紙に貼って、毎時間“ふり返りカード”に◎○△を記入して自己評価させた。“BEST”の“B”は“Big voice(相手に聞こえる声の大きさで)”，“E”は“Eye contact(目を合わせて)”，“S”は“Smile(にこやかに)”，“T”は“Try(自分から進んで)”の頭文字を取り、黒板にもふり返りカードと同じ挿絵を貼って、親しみやすかつ1時間毎の各自のめあてとして設定しやすいようにして取り組んだ。



- ③ 評価の方法としては、英語ノート、ふり返りカード、行動観察、発表観察、座席表を主として用いた。

(3) 児童の興味・関心等の学習状況の変容に関する定量的な把握及び文部科学省が実施するアンケート等の調査の実施

- ① 外国語活動が定着したと思われる2学期の終わり(12月)に、児童・保護者を対象としたアンケートを実施し、外国語活動に関する意識や興味・関心、意欲等の定量的な把握を行った。
- ② 1時間毎にふり返りカードを記入させ、児童の興味・関心や意欲、感想等を把握し、次の時間の活動に生かすようにした。
- ③ 文部科学省の行う意識調査を9月と1月に実施した。

(4) 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組

- ① 校内研修の全体研修として、英語ノートや指導資料の見方、CDの歌やチャンツ、クラスルームイングリッシュ、デジタル教材について研修を行った。電子黒板は、5・6年生の外国語活動に限らず、他の学年の様々な場面でも活用できた。
- ② 1学期に校内授業研究会、2学期に平成21年度外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業公開發表兼平川市小学校外国語活動研究協議会を実施した。
- ③ 平成21年度小学校における英語活動等国際理解活動指導者養成研修(北海道・東北ブロック)、青森県小学校外国語活動中核教員研修、第6回全国小学校英語活動実践研究大会に参加し、研修内容について伝達した。

(5) 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用

- ① 市のALTや地域外部講師と一緒にほとんどの授業を行った。どちらも常に英語ノートを持っているので授業の流れについて打合せしやすく、役割分担をする場面や、絵カードの確認、電子黒板を使うタイミング等についての確認が、毎回短時間でできた。
- ② ALTや地域外部講師とTTで授業をしていると、児童の質問に対して落ち着いて対応することができた。指導者が複数いることで、児童への支援はもとより、活動の様子をきめ細かく観察し賞賛することができ、児童はより積極的に外国語活動に取り組むことができた。

(6) 他の小学校や中学校等との連携

- ① 9月に平成21年度外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業公開発表兼平川市小学校外国語活動研究協議会を実施した。本校の全教職員と市内の各小学校から1名、中学校の英語の先生方に、地域外部講師とTT体制で行う5年生の授業と、電子黒板を活用した6年生の授業を参観していただいた。授業後の協議会では、各校での実態や23年度の本格実施に向けた課題が主な話題となった。
- ② 10月に平川市学校間連携学習指導研究会が行われ、小中連携の大切さを再度確認し、外国語活動に関する小学校間での、指導や評価について情報交換する機会となった。

(7) その他(校内における外国語活動推進体制の構築、地域との連携等)

- ① 外国語活動推進委員会を設置し、全教職員で外国語活動に関するねらいや教材についての研修、評価の方法等について共通理解を図ることができた。特に、電子黒板を使用してのデジタル教材に関する研修では、外国語活動だけでなく他の学年の様々な活動の場面で活用可能な教材として、非常に活気のある研修となった。
- ② 校内研修の研修教科を今年度は、1～4年生が国語、5・6年生が外国語活動と並行して取り組んだが、授業実践に主たる目的をおいたことでよりよい研究組織となった。
- ③ 今年度は、年間32回地域外部講師に来ていただいて授業を行うことができた。

5 取組の成果と課題

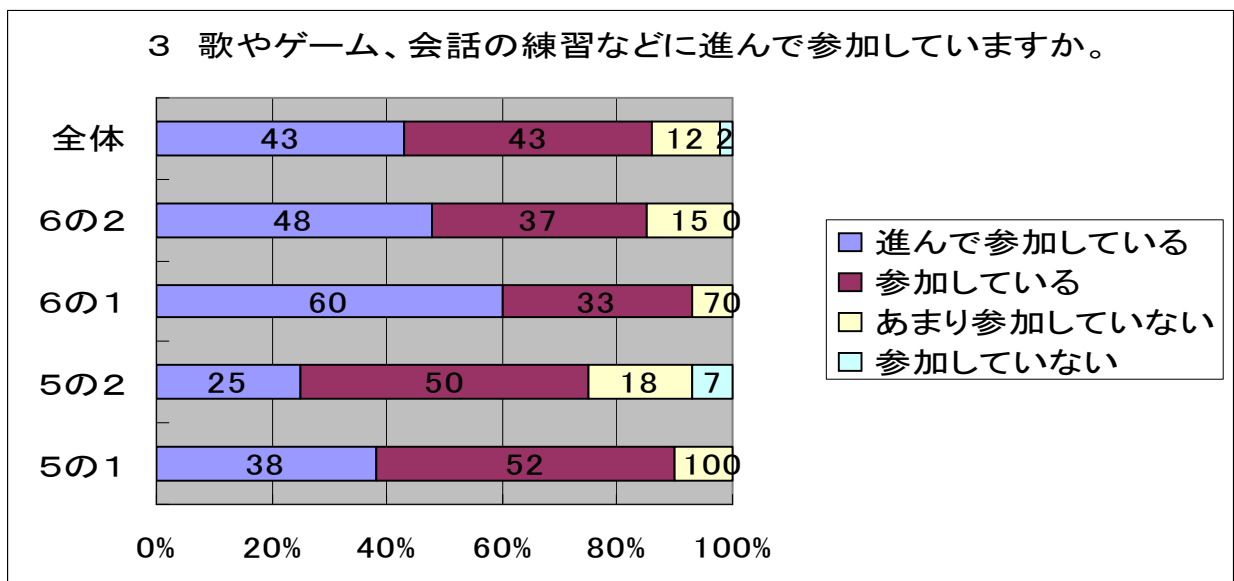
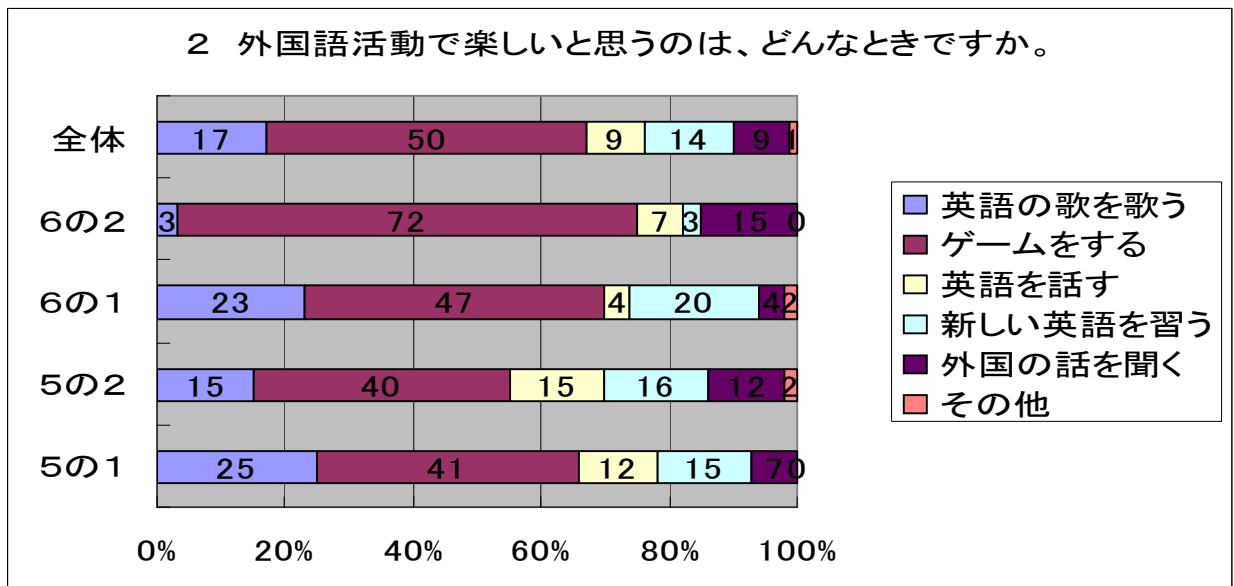
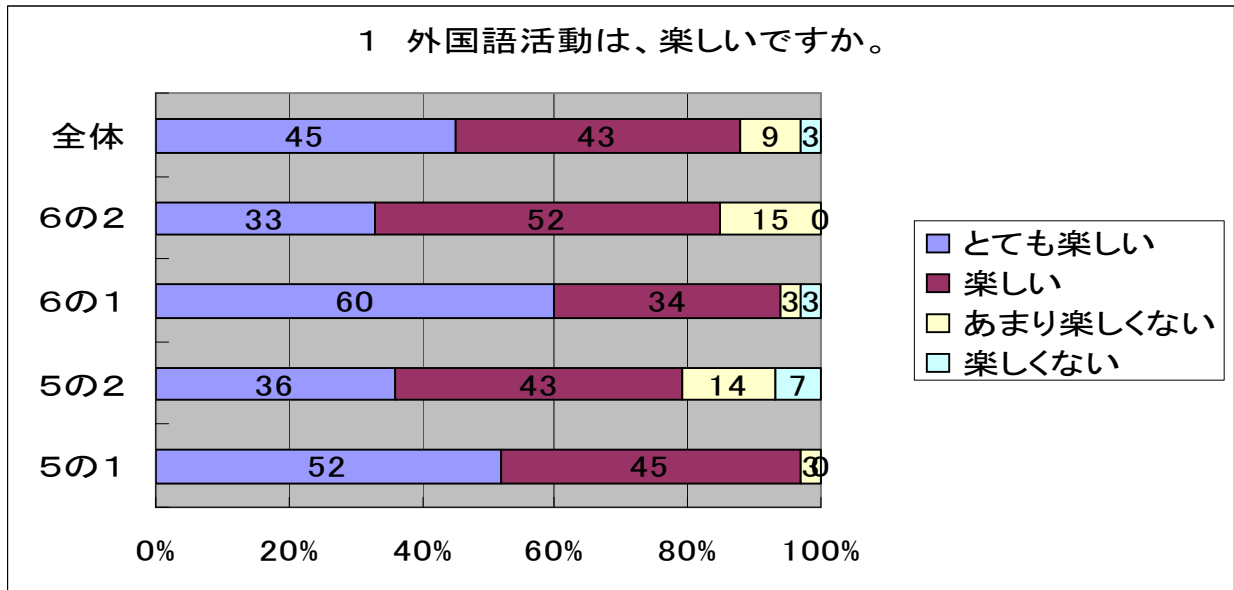
(1) 成果

- ・本事業を機に、5・6年担任を中心とした外国語活動推進委員会を組織し、校内の全体研修で外国語活動のねらい等を適切に理解することができた。
- ・「英語ノート」を外国語活動の時間に毎回使う“ノート”としてとらえ、色を塗ったり、書き込みをしたりしながら、楽しんで活用することができた。また、単元毎に活動のめあてに対するふり返しシートを「英語ノート」の中表紙に貼って、1時間毎に自己評価させることによって評価の改善が図られた。
- ・「英語ノート」準拠デジタル教材を活用することで、実際の音声とイメージがすぐにつながり、児童は外国語をより身近に感じることができた。また、電子黒板の活用について研修し、デジタル教材に対する職員の意識が高まった。
- ・地域外部講師を活用することによって、ネイティブの発音に近い英語にふれることができ、児童は生き生きと外国語活動に取り組むことができた。
- ・外国語活動は楽しいと感じている児童が多かった。(88%)その根拠として、「ゲームをする」「英語の歌を歌う」「新しい英語を習う」ことを挙げ、「その他」に「ALTの先生が来てくれるから」「電子黒板を使うから」を理由に挙げる児童もいた。
- ・外国語活動のとき、先生や友だちの話す英語をよく聞いている児童の割合が高い。(97%)
- ・英語を話せるようになりたいと思うかとの設問に、「とても思う」「思う」と87%の児童が答え、意欲をもって取り組んでいる様子が分かる。

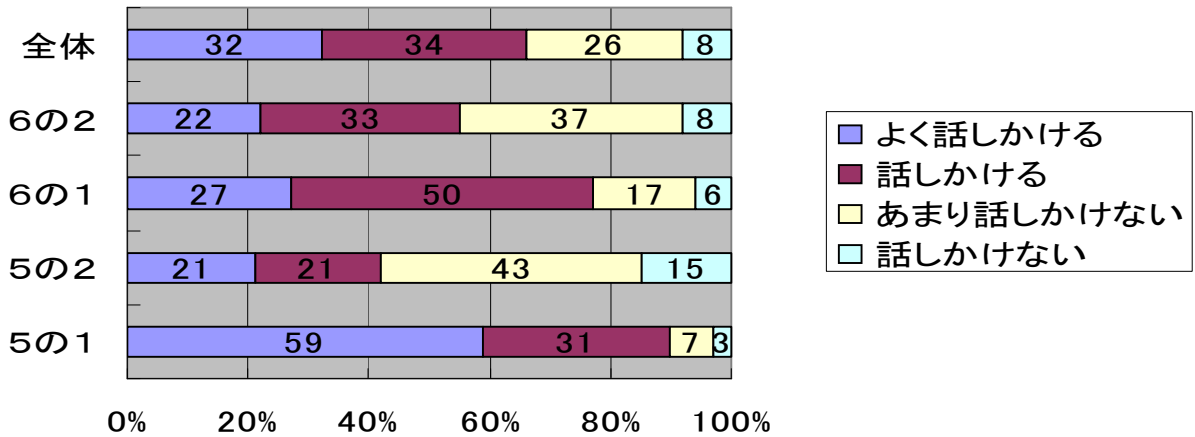
(2) 課題

- ・「英語ノート」準拠デジタル教材を活用する際に、電子黒板の準備に時間がかかる。
- ・5・6年4学級に対して地域外部講師が一人ということで、講師の人材確保が求められる。
- ・外国語活動の授業を進めていく上で、打合せの時間が必要である。
- ・掲示やゲームで使うためにデータをプリントするための用紙代、様々なソフトを購入するための予算をどう確保していくのか。
- ・学校間において、指導に温度差が感じられる。どの程度まで進めていけばいいのか、学校間での情報交換が必要になってくる。

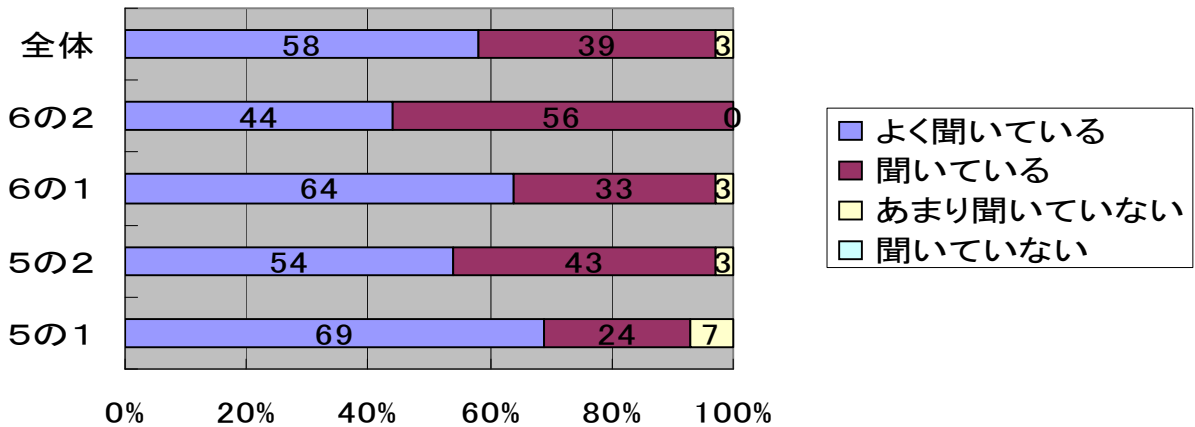
【参考1】児童アンケートの結果より（平成21年12月実施）



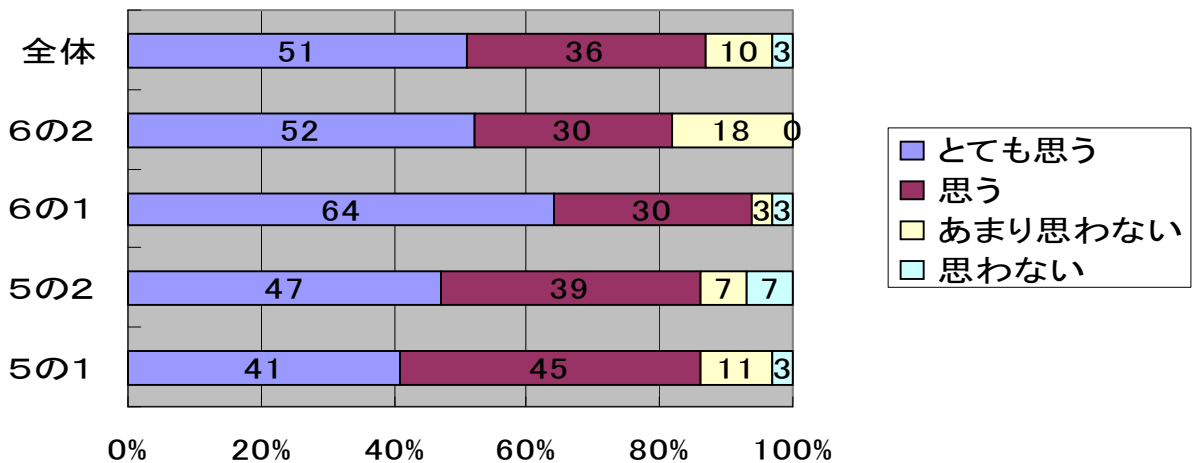
4 外国語活動のとき、英語で先生や友だちに進んで話しかけますか。



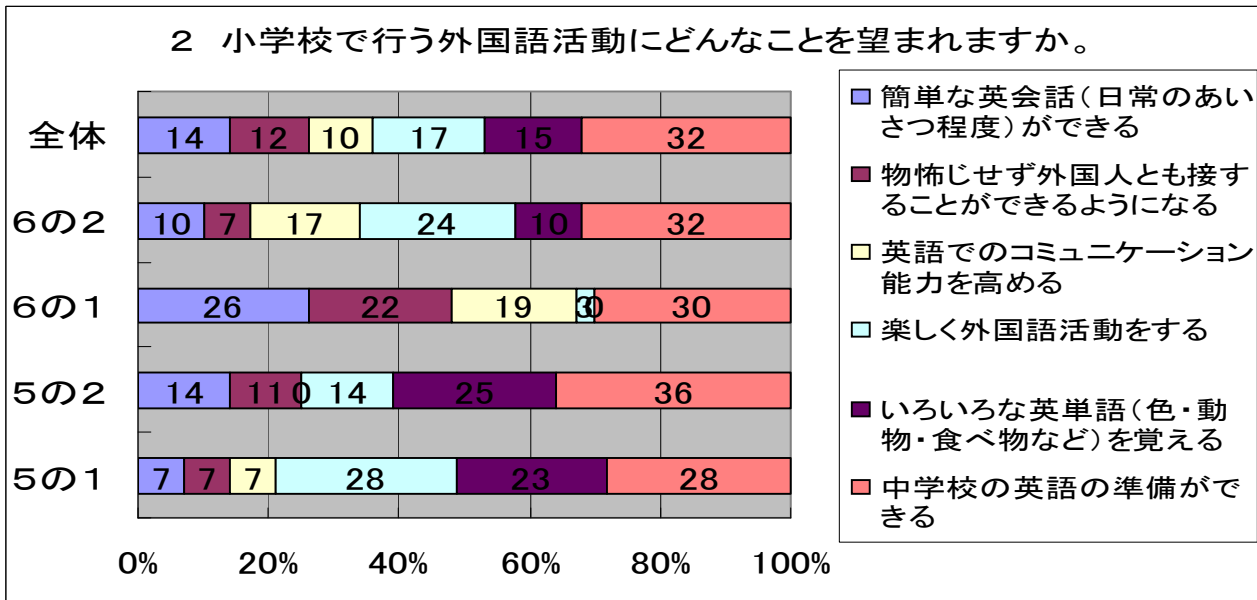
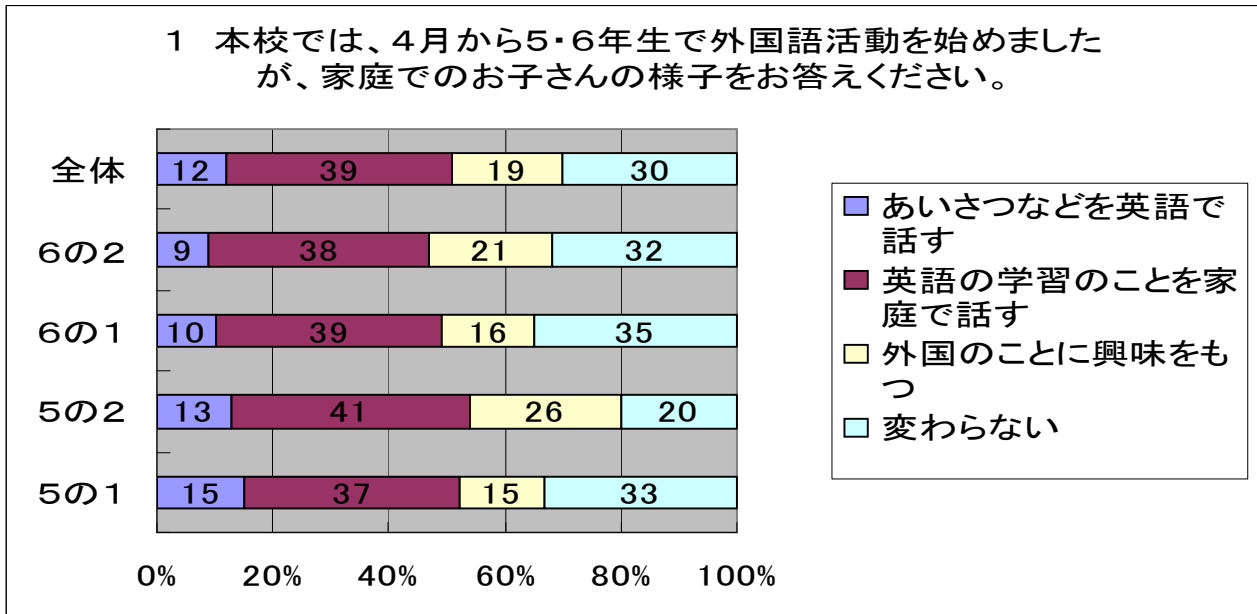
5 外国語活動のとき、先生や友だちの話す英語をよく聞いていますか。



6 英語を話せるようになりたいと思いますか。



【参考2】保護者アンケートの結果より（平成21年12月実施）



6 年間指導計画

月	第5学年		第6学年	
	単元	内容	単元	内容
4月	Lesson 1 世界の「こんにちは」を知ろう	世界の様々な挨拶を知り、様々な国の言葉で挨拶したり、英語で自分の名前を紹介したりする。	Lesson 1 アルファベットで遊ぼう	アルファベットを使った様々な活動を通して、アルファベットの大文字の読み方に親しむ。
5月	Lesson 2 ジェスチャーをしよう	表情やジェスチャー等を使って自分の思いを表現し合い、言葉によらないコミュニケーションを図る。	Lesson 2 いろいろな文字を知ろう	アルファベットや21~100の数字を使った様々な活動を通して、アルファベットの小文字の読み方や21以上の数の言い方に親しむ。
6月	Lesson 3 数で遊ぼう	世界の数の数え方を知り、いろいろな国の言葉で数を数えたり、数を使ったゲームをする。	Lesson 3 友だちの誕生日を知ろう	英語で月や序数の言い方に親しみ、自分の誕生日を紹介したり、世界の行事を知ったりする。
7月	Lesson 4 自己紹介をしよう	身近な外来語と英語の違いに気付き、身の回りの物の好き嫌いを加えた自己紹介をする。	Lesson 4 「できる」「できない」の紹介をしよう	「できる」「できない」の表現を使って、互いに尋ねたり自己紹介したりする。
8月				
9月	Lesson 5 いろいろな衣装を知ろう	世界には様々な衣装文化があることに気付き、様々な服や色の英語を使って買い物をする。	Lesson 5 道案内をしよう	建物や道案内の簡単な表現に慣れ、友だち同士で英語による道案内を体験する。
10月	Lesson 6 外来語を知ろう	様々な果物や野菜の言い方を使ってフルーツフェを作ったり、世界の食べ物を知り、好きな物を注文したりする。	Lesson 6 行ってみたい国を紹介しよう	世界の様々な食べ物や建物、人物への関心を深め、自分の行きたい国について理由をつけて紹介する。
11・12月	Lesson 7 クイズ大会をしよう	クイズを通して、楽しく英語の表現に親しんだり、自分たちでクイズを作ってクイズ大会をする。	Lesson 7 自分の一日を紹介しよう	英語での時刻の表現を使って、自分の1日の生活を紹介し合う。
1月	Lesson 8 時間割を作ろう	様々な教科や曜日の表現に慣れ、自分だけの時間割を作って紹介し合う。	Lesson 8 オリジナルの劇をつくろう	世界の民話や物語を英語で聞いたり、英語を使った劇を演じたりする。
2月	Lesson 9 ランチ・メニューを作ろう	丁寧な表現で注文したり注文を聞き取ったりして、自分の理想のランチメニューを作って紹介し合う。	Lesson 9 将来の夢を紹介しよう	様々な職業の言い方を知り、将来つきたい職業について尋ね合ったり、自分の夢について理由をつけてスピーチしたりする。
3月				

7 指導案

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : Lesson 5 いろいろな衣装を知ろう (第3限目) 第5学年1組

2 使 用 教 材 : 英語ノート1 (英語ノート34ページ)

3 本時のねらい : 好みをはっきり言ったり, 相手が気持ちよく買い物ができるように声かけをしたりして, 買い物を楽しむ。

4 本時の展開

時 間	学 習 内 容	○ 指 導 者 の 活 動 ● 児 童 の 活 動	※ 指 導 上 の 留 意 点 △ 準 備
5 分	挨拶をする。 ○ Hello, everyone. ● Hello, Mrs. Watanabe and Mrs. Ishiyama. ○ How are you? ● I'm fine thank you, and you? ○ I'm fine too, thank you.		※ 一人ひとりと挨拶をするこ とにより, 指導者と1対1 になって, 英語でやり取りを する機会をもたせるよう にする。 △ BESTカード (掲示用)
5 分	BESTの確認をする。 ● B(Big voice)E(Eye contact)S(smile)T(Try)		△ 絵カード ※ 言葉や色を変え, 飽きずに 楽しく取り組むことができ るようにする。
30 分	今日の活動を知る。 好きな服の買い物ゲームをしよう。 【Activity 1】 ○ やり方を説明する。お客は「Hello」や「Thank you」を いうこと, 店員は「Here you are」や「You're welcome」 を話すことを確認する。 ○ 地域ボランティアとデモンストレーションをする。 ● 話し方を練習し, 買い物ゲームの準備をする。 ● お客と店員に分かれて買い物ゲームをする。 ○ 各店を回り, やり通りの様子を見たり, 支援したりする。 ● お客と店員を交代してゲームを続ける。		△ 英語ノートp34 △ 掲示用買い物絵カード ※ 3枚の絵を見て, どんなや りとりをしているかを考え させる。 △ 衣服カード (8種類各8色, 7グループ) ※ お客は欲しい物をはっきり 話すこと, 店員は笑顔でお 客に接することを確認する。 ※ 買い物をする時には, お互 いにアイコンタクトを取る ことがコミュニケーション を取る上で大切なことを押 さえる。
5 分	今日の活動を振り返る。 ● 評価カードに活動の振り返りを記入する。 ○ 今日の活動を振り返らせる。(BESTについて) 挨拶をする。 ● Thank you, Mrs. Watanabe and Mrs. Ishiyama. ○ You're welcome. Good job. See you. ● Good-bye. See you.		△ BESTカード ※ 自分のめあてについて振り 返らせ, 挙手で確かめる。 ※ 良かった点を話し, 次時の ショー・アンド・テルへの 意欲へつなげる。

5 評価規準

- ・好きな衣服をはっきりと言って買い物をしている。
- ・相手が気持ちよく買い物ができるといえるような声かけをしている。

6 指導後の反省点等

- ・グループごとに衣服カード (64枚) を準備し, 1対1でやりとりをすることで, 楽しく衣服の買い物をすることができた。
- ・「It's cute. (good, cool)」などのほめ言葉を使って会話を続けていく姿が見られ, 意欲的にコミュニケーションを取ろうとすることができた。
- ・地域ボランティアと二人で指導にあたることができたので, 会話のデモンストレーションもできるし, 児童の買い物の様子の支援にも目が行き届いた。

外国語活動 学習指導案

1 単 元 名 : Lesson4 できることを紹介しよう (第2 限目) 第6 学年2 組

2 使 用 教 材 : 英語ノート2 24~25 ページ

3 本時のねらい : どのようなことができるか友達に尋ねたり, 答えたりする。

4 本時の展開

時 間	学 習 内 容	○ 指 導 者 の 活 動 ● 児 童 の 活 動	※ 指 導 上 の 留 意 点 △ 準 備
5 分	○ 挨拶をする (全員とした後, 教師・当番の児童が列の人たちとする)。Hello, How are you? ● I'm fine (hungry, sleepy, happy) thank you, and you? ● 今日の授業の中で自分のめあてを決める。		※ 英語で元気に挨拶を交わすことにより, 児童に授業の始まりを意識させるようにする。 ※ BESTの中で特にどこを頑張るのかを確認して意識付けを図る。
5 分	【Let's Chant】 ● CDに合わせてチャンツをする。 ○ CDのリズムに合わせて, みんなで身振りを考えながらチャンツをさせる。 ● 小鳥とペンギンのパートに分けたり, 速さを変えたりしながらチャンツをする。		※ 身振りをつけて元気に歌わせることにより心と体をほぐし, 恥ずかしがらないで何事もやろうという雰囲気を作りたい。 △ 電子ボード
10 分	● 今日の活動を知る。 どんなことができるか友達に聞いてみよう。 【Activity 1①】 ○ 動作絵カードを見せながら, Can you~? の表現を用いてその絵の動作ができるかどうかを児童に尋ねる。 ● 児童は Yes, I can. No I can't. で答える。 ● CDを聞いて英語ノートP26の絵を指さす。		※ 指導者は児童が指さしをしている間, 机間指導をして聞き取りにくい児童のそばに寄り添いで何度も単語を発音したり, 一緒に指さしをして支援する。 △ 電子ボード, CD
10 分	【Activity 1②】 ● ジェスチャーゲームをする。 ○ 教師は英語ノートP26の動作のジェスチャーをする。そしてそれぞれの動作かを尋ねる。 ● 代表の児童がジェスチャーをする。		※ できるだけ難しいジェスチャーから簡単なものへと演技をかえていき, 場を盛り上げたい。
10 分	【Activity 1③】 ● となりの人にできることやできないことを聞いて () に名前を書き, □ に○△を書く。 A: Can you play baseball? B: Yes, I can, I can play baseball. (B: No, I can't.)		※ まず児童が尋ねて教師が答える。尋ねることに慣れてきたら, 教師が尋ねて児童に答えさせる。 ※ 児童の様子を観察し言いにくそうにしている児童にはそばに寄り添って支援する。
5 分	● 本時の振り返りをする。 (BEST カードへの記入, 感想の発表) ● 挨拶をする。 Thank you, Saito.		△ BESTカード ※ BEST (Big voice, Eye contact, Smile, Try) について, 毎時間カードに書き込む。

5 評価規準

・ できるかどうかを質問したり答えようとしたりする。

6 指導後の反省点等

・ 本単元 (Lesson4) から電子ボードを使用してみた。結論から言うと, 児童が外国語活動に興味をもち, 楽しんで活動するためには大変効果的であると感じた。あらゆる場面で映像と音声と一緒に入ってくるので児童にはとてもわかりやすく, しかもその映像が動いたり電子ボードに書き込んだりすることも大変良かった。準備に少し時間がかかるが, A L T がいない時に学級担任が授業をする上ではとても効果的である。

・ 本時では, できるかどうかの尋ね方や答え方を何度も繰り返し練習させた。口頭表現ができたという体験を繰り返すことにより, 外国語を習得することの楽しさを実感させたいと考え実行したがよかったと思う。とにかく児童は何と言っているのか自信がなく, その不安を解消することが大切であると思った。

